

Ⅱ．海外経済

		2015年6月	2015年7月
世界経済		世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融政策正常化に向けた動きの影響、ヨーロッパ、中国やその他新興国経済の先行き、原油価格下落の影響、地政学的リスク等について留意する必要がある。	(変更なし)
アメリカ		アメリカでは、景気はこのところ弱めの動きもみられるが、回復が続いている。 先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、金融政策正常化に向けた動きの影響、原油価格下落の影響、ドル高の影響等に留意する必要がある。	(変更なし)
アジア地域	中国	中国では、<u>景気の拡大テンポは一段と緩やかになっている</u>。 先行きについては、<u>緩やかな拡大傾向が続くと期待される</u>。ただし、不動産価格や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。	中国では、<u>景気は緩やかに減速している</u>。 先行きについては、<u>各種政策効果もあり、安定的な成長は維持されるものと見込まれる</u>。ただし、不動産価格や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。
	その他アジア	韓国では、景気は減速している。台湾では、景気はやや減速している。インドネシアでは、景気はやや減速している。タイでは、景気は下げ止まりつつあるものの、一部に弱い動きもみられる。インドでは、景気は持ち直している。	(変更なし)
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	ユーロ圏では、景気は持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、<u>政府債務問題等</u>への対応やその影響、失業率や物価の動向、地政学的リスクの影響に留意する必要がある。	ユーロ圏では、景気は持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、<u>ギリシャ問題</u>への対応やその影響、失業率や物価の動向、地政学的リスクの影響に留意する必要がある。
	英国	英国では、景気は回復している。先行きについては、回復が続くと見込まれる。	(変更なし)